

全国学力・学習状況調査結果についてのお知らせ

平成20年4月に小学校6年生を対象に実施した全国学力・学習状況調査の結果がまとまりました。この調査結果を踏まえ、今後の本校としての取組についてご説明します。

なお、今回の調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面にすぎません。この調査結果に一喜一憂することなく、児童一人ひとりの力をつけることに、引き続き取り組んでまいります。

地域・保護者のみなさまには、本調査の趣旨を十分に理解した受け止め方をしていただけるようお願いいたします。

全国学力・学習状況調査の概要（文部科学省資料より）

- § 背景
- 学校教育の現状や課題について十分に把握する必要性
 - 国際学力調査の結果にみる学力や学習意欲の低下傾向
 - 義務教育の質を保證する仕組みの構築の要請
- § 調査の目的
- 全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育の結果を検証し、改善を図る。
 - 各教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において、自らの教育の成果を把握し、改善を図る。

1 昨年度からの取組

本校の教育目標を元に視点を絞り、各学年の指導の改善を目指して取り組んできました。

「自ら学び続ける力」を育てるために

- *学習の中で、自分の気持ちや思いを伝え合う活動の充実を図ります。
- *資料や情報を読み取って考えたり表現したりする学習の充実を図ります。
- *漢字の読み書きや四則計算など学習の基礎となる力のより確実な定着を目指します。

「豊かな心」をもち「心身共にたくましく生きていく」ことができる子どもを育てるために

家庭や地域にも協力をお願いし、多くの人と関わる場をつくることを呼びかけていきます。そのような場でこそ、子どもたちは家族や地域の一員であることを実感したり、自分の役割を意識したりすることができると思います。

学校では、人と関わる体験の積み重ねを生かすことを意図しながら、学習活動を展開していきます。自らのよりよい生き方を願い、行動しようとする子どもを育てていくことを目指していきます。

- ◎授業の中で、気持ちや思いを伝え合う学習場面において、指導の手だてを工夫してきました。
- ◎情報を読み取って考えたり表現したりする学習場面において、時間の確保と個に応じた指導をしてきました。
- ◎豊かな心の育成として、道徳教育の充実と、異学年交流活動の活性化を図ってきました。

2 今年度の調査結果・本校の概要

(1) 教科学習状況調査結果

<国語・算数結果> 共通の傾向

- A問題 「知識」には、課題がみられます。
- B問題 「知識・技能」を活用する力にも、分野によって課題が見られます。

◇全国の正答率と比べて、よいと考えられる内容

◆全国の正答率と比べて、指導・改善が必要と考えられる内容

【 】内は国の正答率との比較を表す。

<国語>

話すこと・聞くこと ◇話し方に関する知識（スピーチの組立の工夫をとらえる）を理解していること【7% 高い】

書くこと ◇言葉の使い方について調べ、結果から考えたことを明確に書く知識を理解していること【6% 高い】

◆文の構成や表現効果を確認、正しく推敲する知識を理解していること【10% 低い】

◆目的に応じて必要な情報を取り出して、効果的に書くこと【13% 低い】

読むこと

◆登場人物の心情と場面についての描写叙述とを関係づけて読むこと【10% 低い】

◆目的に応じて情報を読み取り、分かったことや自分の考えを明確に書くこと【4% 低い】

言語事項

◆漢字を正しく読んだり、書いたりする知識を身につけていること【関連設問全体として7% 低い】

<算数>

数と計算 ◆整数、小数、分数の四則計算を正確にすること【関連設問全体として5% 低い】

量と測定 ◇基本的な図形（平行四辺形）の公式を理解し、面積をもとめること【4% 高い】

◆重さの感覚を身につけていること【4% 低い】

図形

◇円周率の意味について理解していること【8% 高い】

◆ひし形、二等辺三角形の定義や性質について理解していること【7% 低い】

数量関係

◆伴って変わる二つの数量（グラフ）について、関係を表にまとめ変化の規則性を読みとること

【関連設問全体として6% 低い】

◆百分率の意味について理解していること【7% 低い】

(2) 生活に関わる質問紙調査結果 （全国の回答割合と比べての傾向です。）

○就寝時刻が遅く、起床時刻も遅い傾向がある。

○ものごとを最後までやりとげて、達成感を得た経験がある割合が高い。

○友達との約束を守っているという意識が高い。

○地域の歴史や自然に関心が薄い傾向がある。

○教科学習の大切さが分かり、学習したことは生活に生かせるという意識が高い。

3 今後の取組

現在、本校では、アンケートにもご協力いただいたように、「教育目標」の見直しを進めています。ここでは、この調査結果に基づく「今年度の取組」をご説明いたします。

「自ら学び続ける力」を育てるために

* 学習の中で、自分の考えを「分かりやすく」「効果的に」書く指導の充実を図ります

* 資料や情報を組み合わせながら読み取って考えたり表現したりする学習の充実を図ります

* 漢字の読み書きや四則計算など学習の基礎となる力のより確実な定着を目指します

「豊かな心」をもち「心身共にたくましく生きていく」ことができる子どもを育てるために

子どもたちの回答からは、前向きで明るい意識が高まってきていることがわかりました。今後とも、家庭や地域と協力しながら、多くの方と関わる場面を大切に、子どもたちを育てていきたいと思っております。